



第 **89** 期
報 告 書

自:2021年4月1日 / 至:2022年3月31日

0テレホールディングス

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応が始まって2年半が経ち、2021年度はコロナ禍からどう立ち直っていくのかが問われた1年でした。当社は経営方針で掲げた「コロナ禍を乗り越える事業の推進」を貫徹し、2020年11月に策定した「新しい成長戦略」が着実に実を結んだと受け止めています。高い個人視聴率を背景に広告収入が順調に回復したほか、収支構造の抜本的な見直しが進展し、さらにグループ各社の経営改革によって業績の改善が進みました。その結果、当期の決算は増収増益を達成し、当期純利益において過去最高を更新することができました。改めて皆様のご支持とご支援に感謝いたします。

そして今年、当社グループは、さらなる発展のために、「感動×信頼のNo.1企業へ」という新しい経営方針を掲げ、あらゆる感動を創造し、生活者に信頼されるNo.1企業を目指すことを指針としました。この指針に基づき、メディアの信頼性向上とサステナビリティへの恒常的な取り組みという基本姿勢のもと、「テレビを超える、ボーダーを超える。」をスローガンに今後3年間の新しい中期経営計画2022-2024を策定し、「コンテンツの価値最大化」「新規ビジネス創出の加速」「ウェルネス経済圏の構築」の3つの重点目標を強力に推し進めていく所存です。

当社グループの基幹会社である日本テレビ放送網は、全日帯、ゴールデン帯、プライム帯の各時間帯でトップを維持し、個人視聴率は年間で11年連続、年度

では9年連続の三冠王を獲得しました。映画事業では「竜とそばかすの姫」が興行収入66億円の特大大ヒットとなり、海外でも高い評価を受けました。動画配信事業の定額制配信サービスHuluはオリジナルコンテンツを強化して有料会員数を大きく伸ばすなど堅調な成長を遂げています。当社グループは今後もあらゆる分野で「総合コンテンツ企業」として邁進していきます。

当期の配当につきましては、期末配当を前年度から2円増配して、1株当たり27円とし、すでに実施済みの中間配当10円を含めた年間配当は37円と致します。当社は今後とも事業環境の変化への対応や収益基盤の強化、成長領域への投資のバランスを図りつつ、業績動向などさまざまな要素を勘案しながら継続的で安定的な株主還元を行うことを基本方針としています。株主の皆様には、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



日本テレビホールディングス株式会社

代表取締役 取締役会議長

山口 寿一



代表取締役 会長執行役員

杉山 美邦



代表取締役 社長執行役員

石澤 顕

CONTENTS 目次

株主の皆様へ	01
サステナビリティ	02
番組・映画・イベント	03
報道・スポーツ	05

IPビジネス・アニメ・海外ビジネス・タツノコプロ	07
ICT・VTuber事業・Hulu	09
営業の概況・連結財務諸表・AI活用による番組制作支援	11
日テレXR・IR・SR・ティップネス	13

日本テレビホールディングスのサステナビリティ

●「Good For the Planet」の取り組み

日テレ系の番組がさまざまなジャンルの「地球にいいこと」「未来にいいこと」を発信していくキャンペーン。2021年度は「#今からスイッチ」をテーマに、44の番組が自然環境、健康と福祉、教育、ジェンダーなどについて考える内容を放送しました。これからも番組内でSDGs関連を取り上げる際は、通年にわたって「Good For the Planet」を紹介するとともに、Twitterなどwebでの情報発信も強化していきます。



●「Myjin Ken Ken Ichigen」への賛同

日本テレビホールディングス株式会社は、法務省が推進する「Myjin Ken Ken Ichigen」の取り組みに賛同し、一人ひとりの人格や個性が尊重される社会の実現を目指して積極的に発信を続けること、不当な差別や嫌がらせのない、健康的で安全な職場環境を維持することなどの宣言を行いました。



●「にじも」誕生！

お天気キャラクター「そらジロー」の仲間としてデビューした「にじも」。LGBTQの象徴である6色レインボーには「多様性を尊重し、いろいろな個性を持った人たちが仲良くできるように」という願いが込められています。2022年2月からは、ニュース番組『news every.』に“実体版”も登場。今後は日本テレビのサステナビリティ活動を象徴するキャラクターとしても活躍していきます。

本冊子の表紙より



番組 年度視聴率 9年連続三冠王達成

2021年度も個人視聴率は全日帯・ゴールデン帯・プライム帯でトップを守り、9年連続で年度三冠王を獲得しました。下半期は、コロナ「オミクロン株」感染急増により多くの都道府県でまん延防止等重点措置が適用される中、大変多くの方々が北京五輪をリアルタイムでテレビ視聴、アスリートの活躍と魅力を堪能しました。結果、大会期間中は、高い視聴率を得て、

テレビのパワーと価値を再認識しました。

2022年4月期改編では、「OFFからONへ、ONからFANへ、FANからBUZZへ」をキーワードに、生活者から選択、支持され、常に話題を提供し続けるためのコンテンツを編成しました。今後も生活者動態および動向にしっかり適応し、更なる信頼を得られるタイムテーブル作りに取り組んでまいります。

2022年度4月期新番組&“お引っ越し番組”より



「上田と女が吠える夜」

毎週水曜日 21:00～21:54放送

上田晋也 VS 齒に衣着せぬ女性たちが、モヤモヤだらけの世の中を一刀両断！（時事ネタ・世間の風潮など、あらゆる怒りや主義主張を包括！）強く生きる女性たちの目線で今の時代を紐解く…痛快トークバラエティーです。



「しゃべくり007」 毎週月曜日 21:00～21:54放送

「月曜から夜ふかし」 毎週月曜日 22:00～23:00放送

日テレ 2021年度 視聴率	全日 6:00～24:00	4.0%
	ゴールデン 19:00～22:00	6.2%
	プライム 19:00～23:00	5.8%

（ビデオリサーチ調べ・関東地区個人視聴率）

実力派3組＝7人の芸人による即興バラエティー「しゃべくり007」。しゃべくりでしか見られない「ゲストの新たな魅力」「爆弾発言」を引き出します！！そして「月曜から夜ふかし」は番組開始10年目にGP帯へ進出。深夜のテイストは維持しつつ、今が旬な話題やトピックスにフォーカスをあてた企画を「夜ふかしの」切り口でお届けし、パワーアップします。

映画

「竜とそばかすの姫」「あなたの番です 劇場版」ほか大ヒットを記録!

2021年度の映画事業はカンヌ国際映画祭プルミエール部門に選出された夏公開の細田守監督作「竜とそばかすの姫」が、興収66億円の超大ヒットを記録!お正月公開の大ヒットドラマの映画化「あなたの番です 劇場版」が興収20億円、報知映画賞監督賞/主演女優賞、ブルーリボン賞主演女優賞など数々の映画賞に輝いた「そして、バトンは渡された」が興収17.2億円ほか、多くの映画が大ヒットを記録しました。2022年は、興収57.3億円のメガヒットを記録した「キングダム」(2019年)公開から3年、夏の超大作映画として続編「キングダム2 遥かなる大地へ」(7/15公開)がいよいよ登場いたします。その他、話題のコメディドラマの映画化「極主夫道 ザ・シネマ」(6/3公開)など、多くの実写・アニメ作品をラインナップいたします。



「竜とそばかすの姫」

©2021 スタジオ地図



「キングダム2

遥かなる大地へ」

2022年7月15日公開

©原泰久/集英社

©2022 映画「キングダム」製作委員会

イベント

コロナとの闘いは続くもイベントは復活の兆し

2021年度もコロナとの闘いの1年でした。ミュージカル「アニー」は、2020年は全公演中止。昨年は対策も万全に、同キャストで満を持して臨むも、緊急事態宣言・都からの要請で、初日のみ2公演の上演、残り25公演は中止に。こちらも万全の対策をたて、「電影活劇」と銘打って臨んだ舞台「魔界転生」も20公演が中止に。そんな中、コロナ禍でのイベント運営のノウハウと対策の知見を蓄積し、安全・安心に、そして、こんな時でも見なくなる斬新な内容と演出で、「バンクシーって誰?展」「庵野秀明展」と2つの展覧会は大成功。コロナ禍で各々18.5万人、14.5万人が訪れ、無事に終えることが出来ました。



2022年度もコロナとの闘いは続きますが、イベントは復活の兆しが見えています。3年

越しでの開催となった、SEKAI NO OWARI 10周年プロジェクト(ライブ・展覧会)は大盛況で終了。コロナで控えられていた大物外国人アーティストの来日公演も今秋開催予定(日本テレビ名義主催)、レディー・ガガ、ジャスティン・ビーバーが日本で見られます。今年は「アニー」も無事開催され、感動の舞台が帰ってきました。「ボテロ展」「ボストン美術館展」などの大型美術展や、「鈴木敏夫とジブリ展」も開催予定です。ご期待ください。

報道

ウクライナを多角的に取材



ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、国際社会に衝撃を与えました。報道局は、国際部、ヨーロッパ駐在の特派員を中心に、日本テレビ系列NNN（日本ニュースネットワーク）の総力を挙げて取材、放送に取り組みました。

「ウクライナ東部で軍事作戦を開始する」日本時間2月24日正午頃、プーチン大統領のテレビ演説とともに、ロシア軍の攻撃が始まりました。歴史が変わった瞬間を、NNNの記者は日本のテレビ局で最も早く、ウクライナ国内から生中継で伝えました。

「通り出るとロシア兵が撃ってきた。一家6人が殺害され、家の外で焼かれた」

4月、虐殺された民間人が多数見つかったキーウ近郊のブチャ市に入った取材班は、戦争犯罪の事実を物語るウクライナ住民の生々しい証言を伝

えました。ウクライナ国内を訪れるのは危険を伴いますが、徹底した安全管理を心がけ、可能な限り現場を直接取材する努力を続けています。

国と国の争いの狭間で翻弄される人々の様子も丁寧に追いました。戦火に追われ、隣国ポーランドに命からがら逃げてきた母子は言葉の壁と不安にさいなまれていました。

力による一方的な現状変更を試みるロシアの行為

は、戦後の国際秩序を壊そうとしています。東アジア地域の安全保障への影響など、日本国民にとっても対岸の火事ではなく、視聴者が知るべき情報をこれからも多角的に伝えてまいります。



ウクライナから避難した親子を取材



デジタル化は戦争報道の形を変えました。民間人被害の状況や戦況の変化は、SNSを通じてリアルタイムで伝わってきます。日本テレビ各報道番組のキャスターはインターネットを介し、現地から惨状を訴える市民や最前線で戦うウクライナ軍司令官に直接インタビューしました。

ネットを通じて取材するnews zero岩本乃蒼キャスター

スポーツ

巨人戦中継で史上初の全塁審カメラを実現！

毎年、新技術や新演出で新規野球ファン獲得にチャレンジを続けている巨人戦中継。2022年の開幕戦では全塁審カメラを実現しました。審判カメラは2011年、怪我や判定への影響を心配する審判部と粘り強い交渉を行い、スタート。当初は主審にカメラを装着してもらい、投球やスイングの迫力を映し出し斬新な映像が話題となりました。2021年には初めて2塁塁審がカメラを装着し、盗塁やダブルプレーの瞬間を間近に見る新しい映像体験を創出。



そして2022年、多くの映像の同時受信技術が確立し、ついに全塁審カメラが実現。1塁3塁ライン際のファインプレーなど今まで見る事が出来なかった角度で野球を楽しむことが可能になりました。今後も野球をドラマチックに楽しんで頂くための新たな挑戦を続けていきます。



スポーツ

北京オリンピック

東京五輪からわずか半年の準備期間、現地下見無しのぶっつけ本番、-20℃の極寒、ホテルと競技場だけの閉鎖環境、毎日のPCR検査、帰国後隔離…数々のハードルを乗り越えて、現地中国に出演者・スタッフ80名を派遣して、北京冬季五輪の放送に臨みました。

日テレでは「スピードスケート女子1500m」「ジャンプ混合団体」「ジャンプ男子ラージヒル」「フィギュア男子ショートプログラム」など注目種目を生中継。荒川静香さんがメインキャスターとして現地北京の緊張感とアスリートの心情を伝え、櫻井翔さんがスペシャルキャスターとして東京で五輪番組の進行を担いました。

現地アナウンサーも大活躍！上重聡アナ・佐藤義朗アナが日本代表の金メダルの瞬間を実況し、情報番組では五輪マスコット愛を連日リポートした辻岡義堂アナの人气が中国に飛び火して大フィーバーになるなど、日本テレビの名が国内外に認知されました。

「北京五輪放送枠」では民放視聴率上位15枠の過半数を日テレが占め、NHKを含む全局の平均視聴率でも、日テレが個人6.5%・コア3.9%・全性年代区分でトップをマークしています。



注目を集めたフィギュアの会場から連日中継

IPビジネス 知的財産(IP)コンテンツの開発

テレビ局の持つコンテンツ制作力とプロモーション力を生かし、企画立案時から多面的なビジネスを想定し、戦略的に「ヒットコンテンツ」や「ヒットアーティスト」を生み出してきたIPビジネス。昨年度はこのIPビジネスがさらに飛躍した一年でした。

LDHと組んだLLP「HI-AX」の作品「HiGH&LOW」は、この秋7作目となる映画を公開予定。過去作含め、コンテンツの世界観をそのままビジネスにつなげ、世界配信、LIVEイベント、ゲーム化、グッズ販売、ファンクラブ運営と、LLP発足8年目ともなる息の長いヒットビジネスを展開中。また、地上波の人気番組「有吉の壁」から派生したIPを活用し、武道館でのコンサートや全国の映画館で作品上映など、番組を起点としたビジネスでも様々な成果を出しています。さらに、オーディション企画や、アーティストの冠番組企画で、デビュー前から、レーベルや事務所、一流プロデューサーとタッグを組んだIP開発も続々展開中。NiziUやBE:FIRSTでの成功を生かし、今後も様々な人気アーティストを手掛けてまいります。



©2022「HiGH&LOW THE WORST X」
製作委員会
©高橋ヒロシ(秋田書店) HI-AX



アニメ アニメ事業部最高益更新！ さらなる飛躍へ！！

2021年度は、日本テレビアニメビジネスにおいて過去最高益を達成しました。日本テレビ史上最高の海外セールスを記録した『月が導く異世界道中』やNetflixで世界配信された『EDENS ZERO』が利益拡大を牽引。日テレアニメの至宝『HUNTER×HUNTER』の海外配信、商品化、ゲーム化の勢いがとどまるところを知らないことも大きな要因です。もちろん「それいけ!アンパンマン」の人気も、コロナに負けずに衰え知らずです。2022年度もこの勢いは続きます。Huluとdアニメストアのデイリーランキングで1位を獲得した4月期『トモチゲゲーム』、ゲーム化を念頭に置いた野心作の7月期『シャインポスト』などをラインナップしております。2022年度も日テレアニメにご期待下さい。

海外ビジネス 『はじめてのおつかい』が海外で大ヒット！



コロナ禍2年目となった2021年度もリモートを駆使しながら海外番販は過去最高売上・利益を達成しました。

特に過去作ドラマ・バラエティーのグローバル配信プラットフォームへの展開が進み、日本で長寿人気番組の『はじめてのおつかい』は、スタジオ部分を除いたクリップ版をNetflixで全世界配信したところ、「可愛い」「日本らしい」と注目を集め、

文化教育論にまで発展する大ヒットとなりました。

また、全世界での現地版制作を目的としたドラマ共同開発企画『CONNECTED(コネクテッド)』をイギリスの会社と立ち上げ、まず日本版『名探偵ステイホームズ』を制作放送し全世界へ発表、欧米各社から熱い引き合いを受けています。2022年度はリアル



タツノコプロ 10月19日に「創立60周年」を迎えます！

タツノコプロは、1962年10月19日に「株式会社竜の子プロダクション」として創業者の吉田竜夫氏らによって設立されたアニメ制作プロダクションです。「世界のこどもたちに夢を—」という吉田竜夫の言葉を胸に「マッハGoGoGo」「ハクション大魔王」「科学忍者隊ガッチャマン」「タイムボカンシリーズ」「ヤッターマン」など、アニメ史に残る数多くのオリジナル作品を世界に送り出してきました。2014年1月に日本テレビグループの1社になり、今年の10月には創業60周年を迎え様々な企画を予定しております。今後も日テレグループのコンテンツ戦略の1社として、自社が保有する50以上におよぶIP資産を生かすとともに、世界のこどもたちに夢を与えるような優良な作品を制作していきます。

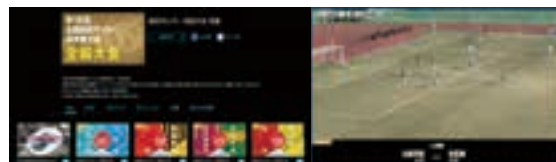


ICT

全国高校サッカー選手権をライブ配信！

第100回全国高校サッカー選手権大会では、地区大会決勝の全48試合、全国大会の全46試合※のライブ配信が実現しました（TVer及び配信パートナーのスポーツブルで実施）。この他、試合のフルマッチ見逃し・ダイジェストなどの充実したコンテンツがラインナップされ、全動画合計で約1200万再生されました。Twitter、Instagram、TikTokの高校サッカーアカウントでも積極的な発信を行い、より多くの方に高校サッカーの盛り上がりをお届けする事ができました。

※コロナで休止になった1試合を除く



VTuber事業

「ClaN Entertainment」設立

株式会社ClaN Entertainmentは今年4月に設立。日本テレビが新規事業としてスタートしたVTuber事業です。代表には事業提案者の28歳・大井基行が就任。VTuber/インフルエンサー市場は急速に拡大していて、



迅速に資本を投下することで事業の大型化を目指します。ClaNのスローガンは「人生を変える、エンターテインメントを」。バーチャルとリアルを繋ぐエンターテインメント企業として、VTuberを中心に、日本テレビグループの強みを生かした番組やイベント、キャラクターなどを創り出します。ネットワーク事業では、独自のインフルエンサーネットワークを構築し、VTuberの活動をサポートします！

Hulu

各種コンテンツ戦略で会員数増加

NTV-Hulu共同製作ドラマ「君と世界が終わる日に」は、金曜ロードショーでの特別編放送後に「シーズン3」全6話を独占配信、会員獲得に大きく貢献しました。「キミセカ」シリーズはHuluを代表するドラマコンテンツとして確固たる地位を築いています。

その他にも、「真犯人フラグ」オリジナルストーリーや、「絶対に笑ってはいけない」シリーズを一挙に配信し、「金田一少年の事件簿」歴代シリーズを初めて配信するなど、多様なコンテンツ戦略で会員数を伸ばしております。

営業の概況

2021年度連結決算について

✓ HD化後の過去最高益を達成

- ・日本テレビ放送網が9年連続個人視聴率三冠王達成
スポット・シェア約3割を背景に地上波広告収入が増加
- ・TVer含むデジタル広告収入は前年比大幅伸長
- ・Huluの会員数は過去最高 アニメ事業等も順調に拡大

✓ コロナ禍を乗り越える改革の成果

- ・収支構造の抜本的見直しによるグループの収益改善
ティップネス、ACMの赤字幅縮小
- ・番組制作費等のコストコントロール進展
- ・HD化以来10年ぶりの大規模グループ再編に着手
- ・ムラヤマHDの子会社化、ビーグリーの関連会社化等
戦略的投資の加速

当社グループの連結売上高

●メディア・コンテンツ事業

3,768億1,700万円(+3.4%)

●生活・健康関連事業

231億9,400万円(+12.4%)

●不動産関連事業

103億4,800万円(+0.4%)

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用

3,477億1,300万円(△2.5%)

営業利益 …586億8,200万円(+70.0%)

経常利益 …648億3,800万円(+51.0%)

親会社株主に帰属する当期純利益

…474億3,100万円(+97.3%)

詳細は当社ホームページをご覧ください。

日本テレビホールディングスIR



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

単位: 百万円

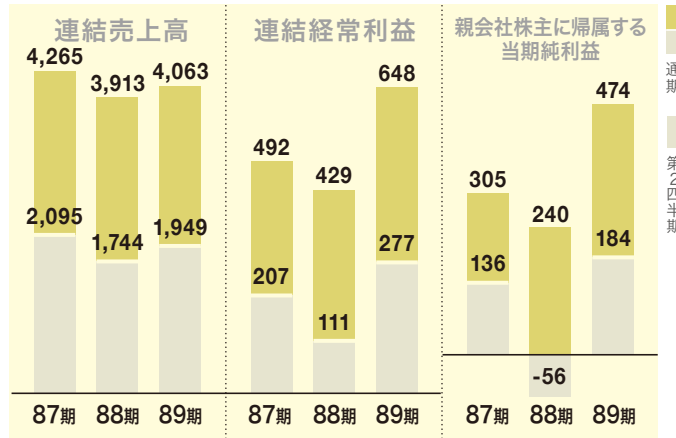
期 別		前 期 末	当 期 末
		2021年3月31日現在	2022年3月31日現在
科 目			
【資産の部】	流動資産	307,784	275,812
	固定資産	724,370	784,356
	有形固定資産	267,921	259,717
	無形固定資産	13,337	27,898
	投資その他の資産	443,110	496,740
	資産合計	1,032,155	1,060,169
【負債の部】	流動負債	104,672	107,816
	固定負債	106,976	101,527
	負債合計	211,648	209,343
【純資産の部】	株主資本	687,947	726,866
	その他の包括利益累計額	127,142	117,875
	非支配株主持分	5,416	6,083
	純資産合計	820,506	850,825
	負債純資産合計	1,032,155	1,060,169

連結損益計算書

単位: 百万円

期 別		前 期	当 期
		自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日
科 目			
売上高		391,335	406,395
売上原価		267,915	253,541
売上総利益		123,419	152,854
販売費及び一般管理費		88,893	94,172
営業利益		34,526	58,682
営業外収益		8,923	6,978
営業外費用		505	822
経常利益		42,944	64,838
特別利益		30,212	7,782
特別損失		27,723	3,802
税金等調整前当期純利益		45,432	68,818
法人税等		21,854	21,292
当期純利益		23,577	47,525
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)		△464	93
親会社株主に帰属する当期純利益		24,042	47,431

単位：億円



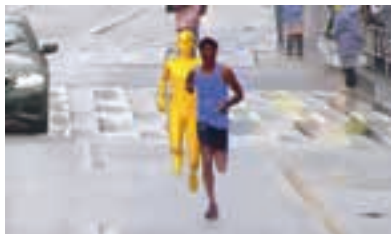
連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	期別	
	前 期 自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日	当 期 自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,097	58,503
投資活動によるキャッシュ・フロー	535	△70,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,953	△9,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	47
現金及び現金同等物の増減額	30,663	△21,368
現金及び現金同等物の期首残高	53,229	83,893
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増加額	-	△111
現金及び現金同等物の期末残高	83,893	62,412

(△は減少)

AI活用による番組制作支援 画像認識システムの高度化と応用



世界／日本記録の人物CG合成

AI画像認識技術により、新たな番組表現や業務効率化を実現する制作支援システムを社内開発しました。

東京五輪など国際中継では、映像内の英語の選手名を日本語テロップに変換して放送しました。これは、本システムが文字を認識し、瞬時に正しく自動変換を行ったものです。また、東京マラソンでは、新たなCG合成手法を考案し、世界／日本記録の位置に人物CGを合成する取り組みを行いました。

これまで過去記録は、秒差など数字でしか比較できませんでしたが、物体の形状認識と距離推定を行い、人物や車両の前後関係に合わせてCGが物体を隠したり、CGが隠れるなど、リアルに可視化することに成功しました。

AI画像認識技術の応用の幅は広く、社内開発によってニーズに迅速に対応できるので、今後も様々な場面で活用していきます。



英語テロップの自動日本語変換

日テレXR 「視聴」から「体験」へ！ 新コンテンツ続々

日本テレビは、これまでミクスタという名称で「ベストアーティスト」等の音楽番組や「24時間テレビ」のチャリティー企画を通して、タレントやスポーツ選手と一緒にいるような体験ができるAR企画を数多く展開してきました。

今後、メタバースやXR（AR・VR・MRの総称）への注目が高まっていくことから、事業範囲をさらに拡大し、XR技術を活用したコンテンツ制作およびプロトタイプ開発支援サービスを2022年4月よりスタートしました。

コンテンツが将来的に「視聴」から「体験」へシフトしていくことを見据えて、これまで日本テレビが番組制作等で培ってきたノウハウを活用し、コンテンツホルダーや外部XR開発会社とも連携しながら、ユーザーやイベント来場者の体験を最大化していきます。



フェイスエフェクト、フェイスペイント、バーチャルメイク、ヘアーカラー変更、バーチャル試着

IR・SR 日本テレビホールディングスが英ESG指数の構成銘柄に選定

環境・社会・企業統治（ESG）への対応が強く求められる中、日本テレビホールディングスは、ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。この指数は、ロンドン証券取引所グループの評価機関であるFTSEラッセル

社が設計したもので、気候変動等への取り組みが積極的な日本企業が選ばれました。

当社グループは、持続可能な未来に貢献すべく「サステナビリティポリシー」を掲げていて、今後もグループ一丸となって推進してまいります。

ティップネス 安心してご利用いただける環境を整備

フィットネスクラブを運営する株式会社ティップネスは、コロナ禍における会員の皆様の健康維持のため、安心してご利用いただけるよう感染対策を徹底して運営しています。また2年目に入った「オンラインフィットネス トルチャ」は、リニューアルを繰り返しながら会員数を伸ばし、定期的な運動を望む

方々に新しい選択肢を提供しています。

株主
優待



トルチャ
初月無料チケット
ぜひご体験ください！

※トルチャチケットは、単元株以上を保有している株主様にお送りしております。

2022年、日本の宝里帰り



芸術×力

ボストン美術館展

Art & Power: From Pharaohs to Daimyōs. Masterworks from the Museum of Fine Arts, Boston

展覧会公式HP=<https://www.ntv.co.jp/boston2022/> お問い合わせ (ダイヤル)=050-5541-8600

主催=公益財団法人東京歴史文化財団 東京都美術館、ボストン美術館、日本テレビ放送網、BS日テレ、読売新聞社 / 後援=アメリカ大使館
協賛=DNP大日本印刷 / 協力=日本航空、日本通運、CS日テレ、ラジオ日本、文化放送、TOKYO MX、テレビ神奈川 / 企画協力=NTVヨーロッパ

Twitter @boston_2022

2022 7.23^土→10.2^日

開室時間=9:30-17:30 (入室は開室の30分前まで)
休室日=月曜日、9月20日^金 (ただし9月19日^木は開室)

※開室時間、休室日など最新情報は
展覧会公式HPでご確認ください



東京都美術館

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

日時指定予約制 一般=2,000円、大学生・専門学校生=1,300円、65歳以上=1,400円

ボストン美術館展 検索 → 詳細は展覧会公式HPをご確認ください。

This exhibition was organized by the Museum of Fine Arts, Boston.
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston. Fenellosa-Wald Collection
〈平治物語絵巻 三条殿夜討巻〉(部分)鎌倉時代、13世紀後半

Museum of
Fine Arts Boston

07
ART

会社情報

会社の現況（2022年6月29日現在）

商 号	日本テレビホールディングス株式会社 (2012年10月1日付 商号変更)
所 在 地	東京都港区東新橋一丁目6番1号
設 立	1952年10月28日
主 な 事 業 内 容	株式等の所有を通じて企業グループの 統括・運営等を行う認定放送持株会社
資 本 金	186億円
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	263,822,080株

取締役・監査役（2022年6月29日現在）

代表取締役
取締役会議長 山 口 寿 一

代表取締役
会長執行役員 杉 山 美 邦

代表取締役
社長執行役員 石 澤 顕

取 締 役 渡 辺 恒 雄

取 締 役 今 井 敬

取 締 役 佐 藤 謙

取 締 役 垣 添 忠 生

取 締 役 真 砂 靖

取 締 役 勝 栄 二 郎

常 勤 監 査 役 草 間 嘉 幸

監 査 役 北 村 滋

監 査 役 村 岡 彰 敏

監 査 役 大 橋 善 光

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日

株主名簿
管理人 東京千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元株式数 100株

株式に関する手続き

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため「特別口座」に記録されている株主様は、「特別口座」の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

0テレビ 日本テレビホールディングス株式会社
NIPPON TV HOLDINGS 〒105-7444 東京都港区東新橋一丁目6番1号

<https://www.ntvhd.co.jp>



Forest Stewardship Council®(森林
管理協議会)の基準に基づき認証された、
適切に管理された森林からの原料を含む
FSC認証紙を使用しています。
水なし印刷方式を採用するとともに、
NON VOCインキを使用しています。